

## 北海道胆振東部地震および地震により発生した停電における

### 施設の状況と対応等について

9月6日(木)午前3時8分の北海道胆振東部地震の発生による、北海道全域の停電後の対応については次のとおり

#### 上水道

- ・ 浄水場施設は非常用自家発電機および小型発電機により運転継続
- ・ 配水池より高い地域等への給水のため設置している、水道増圧ポンプ全27か所が停止し、給水停止地域が発生(断水戸数912戸 減水戸数1203戸)
- ・ 停止した増圧ポンプ5か所に可搬式発電機を設置
- ・ 8時30分現在で断水戸数552戸 減水戸数867戸
- ・ 元町配水場、赤川高区浄水場、東山見晴台団地下バス停前、南茅部支所に給水拠点を開設し応急給水対応
- ・ 9月7日8時に赤川低区浄水場の停電復旧(非常用発電機の運転時間29時間)
- ・ 9月7日19時に赤川高区浄水場の停電復旧(非常用発電機の運転時間40時間)
- ・ 9月7日21時に停電の復旧を確認し、旧市内の給水拠点、応急給水対応を解除
- ・ 9月7日22時40分に旭岡浄水場の停電復旧(非常用発電機の運転時間43時間)
- ・ 9月8日11時にすべての給水対応を終了
- ・ 応急給水活動で配られた給水用ポリ袋(10ℓ)2,800枚  
28,000ℓ=500mlペットボトル56,000本、24本入2,333ケース相当
- ・ 災害協定に基づき、第一環境(株)に応援要請、また、管工事業協同組合に出動待機体制を依頼
- ・ 職員延べ359人、受託業者(株)日立製作所、(株)データベース、第一環境(株)延べ35人、計394人で対応

#### 下水道

- ・ 南部下水終末処理場・汚水処理施設等は非常用自家発電機により運転継続
- ・ 函館湾浄化センターは非常用自家発電機により運転継続
- ・ 47か所のマンホールポンプ所が停止したため、可搬式発電機8台で巡回運転実施
- ・ 9月7日6時に南部下水終末処理場・汚水処理施設の停電復旧(非常用発電機の運転時間27時間)
- ・ 災害協定に基づき、排水設備指定業者協同組合に出動待機体制を依頼
- ・ 職員延べ62人、受託業者(月島テクノメンテサービス(株))延べ170人、計232人で対応
- ・ 汚水・汚泥処理は、市民に影響する事態の発生はなし

#### 交通

- ・ 始発運行前に、主要電停へ職員配置し、全面運休の周知
- ・ 9月7日まで運休
- ・ 9月8日始発から運行開始
- ・ 9月10日から19日の平日に節電ダイヤ運転(6分間隔を7分間隔運転へ)

#### 被災地への支援

- ・ 給水用ポリ袋4,060袋を江別市に運搬  
(給水用ポリ袋提供自治体は、函館市、北斗市、七飯町、長万部町)
- ・ 職員派遣  
9月10～12日 厚真町へ2名 下水道災害復旧支援チームの一員として  
9月18～22日 安平町へ2名 給水車1台 応急給水支援として